

中学校 3年生 保健体育科学習指導案

1 単元名 「 第5章 健康な生活と病気の予防 」 (健康を守る社会の取り組み)

2 単元について

小学校では、健康の大切さや健康によい生活、病気の起こり方や予防などについて学習している。

ここでは、人間の健康は、主体と環境が関わり合って成り立つこと、健康を保持増進し、疾病を予防するためには、それに関わる要因に対する適切な対策があることについて理解できるようにする必要がある。また、健康な生活と疾病の予防に関する課題を発見し、その解決に向けて思考し判断するとともに、それらを表現することができるようにすることが必要である。さらに、自他の健康に関心を持ち、現在だけではなく生涯を通じて健康の保持増進や回復に主体的に取り組む態度を身に付けることが必要である。

このため、本内容は、健康の保持増進や生活習慣病などの予防するためには、適切な運動、食事、休養及び睡眠が必要であること、生活行動と健康に関する内容として喫煙、飲酒、薬物乱用えお取り上げ、これらと健康との関係を理解できるようにすること、また、疾病は主体と環境が関わりながら発生するが、疾病はそれらの要因に対する適切な対策、例えば、感染症への対策や保健・医療機関や医薬品を有効に利用することなどによって予防できること、社会的な取組も有効であることなどの知識と健康な生活と疾病の予防に関する課題を解決するための思考力、判断力、表現力等を中心として構成している。

3 単元の目標

知識・技能	健康な生活と疾病の予防について、課題の解決に役立つ基礎的な事項及びそれらと生活とのかかわりを理解することができるようにする
思考力・判断力・表現力等	健康な生活と疾病の予防について課題の解決を目指して、知識を活用した学習活動などにより、科学的に考え、判断し、それらを表現できるようにする。
学びに向かう力・人間性	健康な生活と疾病の予防について関心を持ち、学習活動に意欲的に取り組もうとすることができるようにする。

4 生徒の実態と指導観

このクラスは遅刻をしたり、授業中に居眠りをしている生徒が多い。生活習慣の乱れだったり部活動などが忙しく十分な睡眠を取れていなかったりしている。そのため、生活習慣が乱れた時にどのようなことがおきるのか説明し、生活習慣を見直す指導をする。

5 単元及び学習活動に即した評価規準

健康安全への知識・技能	健康安全についての思考力・判断力・表現力等	健康・安全について、主体的に学習する態度
<p>・健康は、主体と環境の相互作用の下に成り立っていること。また、疾病は、主体の要因と環境の要因が関わり合って発生することを理解している。</p> <p>・健康の保持増進には、年齢、生活環境等に応じた運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を続ける必要があることを理解している。</p> <p>・生活習慣病などは、運動不足、食事の量や質の偏り、休養や睡眠の不足などの生活習慣の乱れが主な要因となって起こること。また、生活習慣病の多くは、適切な運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を実践することによって予防できることを理解している。</p> <p>・喫煙、飲酒、薬物乱用などの行為は、心身に様々な影響を与え、健康を損なう原因となること。また、これらの行為には、個人の心理状態や人間関係、社会環境が影響することを理解している。</p> <p>・感染症は、病原体が主な要因となって発生すること。また、感染症の多くは、発生源をなくすこと、感染経路を遮断すること、主体の抵抗力を高めることによって予防できることを理解している。</p> <p>・健康の保持増進や疾病の予防のためには、個人や会社の取組が重要であり、保健・医療機関を有効に利用することが必要であること。また、医療品は、正しく使用することを理解している。</p>	<p>・健康な生活と疾病の予防について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。</p>	<p>・健康な生活と疾病の予防についての学習に自主的に取り組もうとしている。</p>

6 指導と評価の計画

時間	主な学習内容	知識	思・判・表	学び
----	--------	----	-------	----

1	感染症とその予防			
2	性感染症とその予防/ エイズ			
3	健康を守る社会の取り 組み			
4	医療機関の利用と医薬 品の使用 診療所や病院はどの ように利用したらよい のだろうか。 医薬品にはどんな作 用があるだろうか。 医薬品を使うときの 注意は何だろうか。		○	

① 本時の目標

医療機関の役割と利用の仕方、医療品の作用と正しい使い方を理解しよう。

医療機関の利用の仕方や医薬品の正しい使い方について考えよう。

② 展開

段階	学習活動【 学習内容 】	指導上の留意点 ◇評価
導入 10 分	<p>【内科と外科について知る】</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">発問1：どのような医療機関があるか？</p> <p>グループで考え発言する</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>予想される生徒の反応：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・怪我をしたとき ・熱が出たとき ・予防接種をするため ・検査をするため </div> <p>○病院には大きく分けて内科と外科があることを知る。</p> <p>○内科と外科の中には何科が存在するか考え学習シートに記入する。</p> <p>○内科と外科の中で何科があるのかを</p>	<p>○グループで考えさせ発言させる 発表でできた発言は板書する</p> <p>○病院には大きく分けて内科と外科があることを説明する。</p> <p>内科は手術ではなく検査や投薬などによって回復を図り、外科は手術による治療をすることが基本である。(画像1)</p> <p>○内科と外科の中で何科があるのか考えさせ、学</p>

	<p>知る。</p> <p>○救急安心センター事業の電話相談窓口を利用することができることを知る。</p>	<p>習シートに書かせる。</p> <p>○実際に内科と外科の中には何科があるのかを説明する。内科には、循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、脳神経内科等がある。</p> <p>外科には、一般外科、大腸・肛門外科、移植外科、心臓外科、呼吸器外科、脳神経外科、整形外科がある。</p> <p>○何科を受診して良いのかがわからない場合は（# 7 1 1 9）救急安心センター事業の電話相談窓口を利用することができることを説明する。</p>
<p>展開</p> <p>30分</p>	<p>【かかりつけ医と医療機関について知る】</p> <p>発問2：風邪をひいた時にどのような対応をするか？</p> <p>4人組のグループで話し合う。</p> <p>予想される生徒の反応： 熱を計る。 親に伝える。 病院に行く。 薬を飲む。</p> <p>○風邪をひいた時の対応の説明を受ける。</p> <p>○かかりつけ医について説明を受ける。</p> <p>○医療機関について知る。</p> <p>【病気や怪我の状態の伝え方について知る】</p> <p>発問3：けがや病気をしたときにどのように医者に症状を伝えているか考えさせる</p> <p>個人で考え学習シートに記入する</p> <p>予想される生徒の反応： ・いつ怪我をしたか ・どこで怪我をしたのか ・いつ症状を発症したか</p>	<p>グループで考えたあとに教師が指名し、発表してもらう。</p> <p>○風邪をひいた時の対応の説明をする。 熱を計り、かかりつけ医の診断を受けて処方された医薬品を服用する。</p> <p>○健康に関することを何でも相談できることや必要な時は専門の医師・医療機関を召喚してくれること、身近で頼りになる医師であることを説明する。</p> <p>p.162 資料① さまざまな医療機関と利用の仕方</p> <p>○医療機関について説明する。 医療行為を提供する機関であり、医療機関は大きく、ベッドが20床以上の病院と19床以下の診療所に分けられることを説明する。</p> <p>○個人で考えさせ、学習シートに記入させる</p>
		<p>4</p>

	<p>○けがや病気において痛みを伝えるときに必要なことを知る。</p> <p>【医薬品の服用の方法について知る】</p>	<p>○けがや病気において痛みを伝えるときに必要なことを説明する。</p> <p>どこがいたいのか、どのように痛いのか、どんな時に痛むのか、いつから痛み始めたかを伝えることが大切であることを説明させる。</p> <p>p.162 コラムを使用する</p>
<p>発問4：風邪をひいた時にどのように医薬品を服用するか？</p>		
	<p>個人で考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>予想される生徒の反応： 医者の言われた通りに服用する。 親に聞く。 薬箱に記載している通りに服用する。</p> </div> <p>○発言する。</p>	<p>個人で考える。</p> <p>○1人で考えたあと教師が指名し、発表させる。</p> <p>○決められた使用回数、使用時間、使用量を守ること、他の薬との併用を避けること、その他の注意について教科書を用いて説明する。</p> <p>p.163 資料② 医薬品の使い方</p> <p>◇学習シートを用いて風邪をひいた時の対応と医薬品の服用について理解することが出来る。</p> <p>〈A評価の観点〉 風邪をひいた時の対応と医薬品の服用する方法を理解することができ、他者に伝えている。</p> <p>〈C評価の観点〉 自分が普段服用している医薬品の方法がどのように服用するか具体的に問いかける。</p>
<p>まとめ 10分</p>	<p>○本時の授業を振り返り、理解したこと、気づいたことを考えさせる。</p> <p>○学習シートを記入させる。</p>	<p>○学習シートに今回の授業で学んだことや今後どのように活かしていきたいかを記入させる。</p> <p>○学習シートの回収</p>

8 板書計画

医療機関の利用と医薬品の使用	画像 1	発問 3
発問 1	発問 2	発問 4

9 資料

内科と外科の違い

<p style="text-align: center;">内科</p> <ul style="list-style-type: none">• 主に内科的治療患者を対応• 慢性疾患が多く状態変化は緩やか• ゆったりとした印象	<p style="text-align: center;">外科</p> <ul style="list-style-type: none">• 主に手術をする患者を対応• 周術期管理が必要• 状態変化は激しい• 忙しい印象
---	---